

事業報告

# 都市間交流事業 連携事業

---

市町村連携事業  
文化団体連携事業



## 事業報告 都市間交流事業 市町村連携事業

玖珠町

### 日本童話祭と久留島武彦の作品を通じた子どもたちの異文化交流

**開催日** / 小学生相互交流授業: 2022年4月27日(水) /  
日本童話祭: 5月5日(木)  
**会場** / 久留島武彦記念館、三島会場(玖珠町大字森)、  
河川敷会場(玖珠町大字帆足)  
**来場者数** / 25,000人 オンライン3,000人  
**主催** / 日本童話祭実行委員会

第73回日本童話祭では、現地でのイベントに加えて、オンライン童話祭として、YouTubeによるライブ配信を実施。県内の韓国出身留学生による会場レポートや、玖珠町森中央小学校と韓国慶州市皇城(ファンソン)初等学校の児童が、久留島武彦の名作「トラの子ウーちゃん」のパネルシアターを通してオンライン交流をした様子などを紹介するとともに、玖珠町のPR動画を韓国に向けて配信しました。



臼杵市

### うすきまちなかアート! ~東アジアを想う~

**開催日** / 2022年5月31日(火)~11月13日(日)  
**会場** / 八町大路、臼杵市観光交流プラザ、サーラ・デ・うすき、  
大分県立臼杵支援学校  
**来場者数** / 約10,000人  
**主催** / 元気のでるアート! 実行委員会・臼杵市教育委員会



アートを通して人と人の出会いの場を創出し、障がいのあるなしにとらわれない「共に生きる」地域社会を目指すことを目的に、韓国慶州市の支援学校「慶州市ギョンヒ学校」と臼杵支援学校の子どもたちが、絵画を通じた国際的な交流を行いました。まちの風景や文化財等の写真を交換し、その写真をもとにお互いの学校で絵画作品を制作し、うすきまちなかアート会場で展示しました。今回のオンライン交流によりお互いの地域の魅力や文化を知ることができ、理解を深めることができました。

### 知りたい! 作りたい! 韓国・慶州の食!

**開催日** / 2022年8月~12月(8月10日(水)、9月13日(火)、  
14日(水)、12月16日(金))  
**会場** / 野津中学校、臼杵高等学校  
**来場者数** / 146人  
**主催** / 臼杵食文化創造都市推進協議会



海外の食文化に触れ、多様な食文化の理解と国際交流を深めるために、慶州市で食べられている料理の教室を市内の子どもたちを対象に開催しました。

大分県に留学経験のある慶州出身の方によるオンラインでの講演会や、キンパなどをつくる調理実習を実施。また調理実習に参加した高校生の中で「フードデザイン(食関連等の学習)」を選択する生徒が、市内飲食店で販売する臼杵の食材を使った韓国のスイーツメニューを23品考案。慶州市との交流や学びから生まれたメニュー2品が商品化され、貴重な経験となりました。

## 佐伯市

## 日韓交流事業in佐伯市

- 開催日**／ 2022年7月8日(金)日韓弦楽デュオ1993 from Berlin、  
9月24日(土)～11月27日(日)佐伯市こどもミュージカル×  
慶州市ソンドドン子供合唱団の日韓交流事業、  
9月24日(土)日韓フェスティバルin佐伯
- 会場**／ さいき城山桜ホール、INTERFALL COFFEE(韓国慶州市)
- 来場者数**／ 約12,520人
- 主催**／ 佐伯市東アジア文化都市実行委員会、  
佐伯市こどもミュージカル実行委員会

ベルリン在住でオーケストラ団員として演奏活動をしている佐伯市出身の西田悠氏(ヴァイオリン)と韓国出身の金夏敬氏(チェロ)による弦楽二重奏の演奏会「日韓弦楽デュオ1993 from Berlin」を開催。日本と韓国の伝統的な曲や現代の人気曲なども演奏し、たくさんの聴衆に囲まれ、盛会となりました。

韓国料理や韓国コスメ、韓国グッズの販売、K-POPダンスなどを楽しむことのできる日韓交流イベント「日韓フェスティバルin佐伯」を開催。市内外の若者を中心に多くの韓流ファンが訪れ、韓国の食やダンスなどの文化を楽しみました。

また、佐伯市こどもミュージカルが慶州市ソンドドン子供合唱団を招聘し、ステージイベントで朝鮮民謡のアリランを合同合唱するなど、慶州市との交流を図るとともに、慶州市を訪問し、伝統文化などを学ぶことで国際理解を深め、継続的に交流を深めていく機運を醸成しました。



## 豊後高田市

## 花とアートのかみ 長崎鼻 オンライントークイベント

- 開催日**／ 2022年8月30日(火)
- 会場**／ 長崎鼻リゾートキャンプ場内  
「不均質な自然と人の美術館」
- 来場者数**／ オンライン66人
- 主催**／ 国東半島カルチャーツーリズム推進事業  
豊後高田市実行委員会

アートディレクターの山出淳也氏を進行役に迎えて、2021年から2022年度に長崎鼻に新たに加わったアート作品を制作した3名のアーティストとともにトークセッションを行いました。「太陽と坐る」を制作した木村崇人氏、「国東半島のラクダ」を制作した淀川テック氏、「One Wild Day」を制作した鴻池朋子氏がそれぞれの作品のコンセプトや、制作途中の写真を楽しく紹介しながら、長崎鼻への想いや魅力などを語りました。

また、韓国慶州市宇洋美術館の学芸士 イ・ジウ氏が、韓国の現代アートや長崎鼻にあるチェ・ジョンファ氏の作品「色色色」などについて発表しました。

長崎鼻や豊後高田市の今後についてのディスカッションも行われ、アートへの想いがあふれる時間となりました。



## 宇佐市・慶州市友好親善都市締結30周年記念行事

**開催日**／2022年10月7日(金)・8日(土)、  
10月24日(月)～11月4日(金)、8日(火)  
**会場**／鳳凰台広場(韓国慶州市)、宇佐ホテルリバーサイドほか  
**来場者数**／1,580人  
**主催**／宇佐市、韓国慶州市

宇佐市・慶州市友好親善都市締結30周年を記念して、慶州市で開催された式典等及び祝祭行事に参加するため、宇佐市長をはじめとする市公式訪問団ほか文化協会会員など17名が慶州市を訪れました。

また、慶州市長、慶州市議会議長及び韓国美術協会の関係者など、慶州からの訪問団20名を宇佐市へ招き、記念行事を開催。両市長からあいさつの後、鏡開きや記念品の交換などを行いました。

そのほか、宇佐市役所本庁1階多目的ホールでは、両市友好親善30年の交流の歴史について、年表とともにパネル展示を実施し、多くの来庁者に見ていただくことができました。



## 威徳大学の学生との伝統工芸文化交流イベント

**開催日**／2022年11月11日(金)～13日(日)  
**会場**／日田玖珠地域産業振興センター、  
日田祇園山鉦会館 ほか  
**来場者数**／110人  
**主催**／日田市

韓国慶州市から大学生を中心とした団体を招聘し、日田市の伝統芸能・工芸の体験を通じた交流事業を実施しました。訪問団は、ユネスコ無形文化遺産に登録された「日田祇園の曳山行事」についての説明を受けた後、日田祇園囃子保存会による日田祇園囃子の演奏を鑑賞しました。また、伝統工芸品である日田下駄の鼻緒付体験では、一人一足ずつ日田下駄の製作に挑戦しました。

「日田もりあ駄い」とのダンス交流では、慶州市からの訪問団が日本の武士のコスプレをしてステージに登場し、会場を盛り上げました。



## パク・ソンヨン展「青い瞑想・光、日常と出会う」

開催日／2022年12月10日(土)、16日(金)、  
17日(土)～2023年1月15日(日)

会場／中津市木村記念美術館

来場者数／450人

主催／中津市教育委員会

韓国慶州市のアーティスト パク・ソンヨン(朴宣映)氏を迎え、展覧会を核とする光のアートイベントを開催しました。パク氏は中津市内に2週間滞在し、作品制作および展覧会の準備を行いました。12月10日にはワークショップ「特別な日常と出会う」を開催し、15名の参加者がアーティストとの対話を楽しみながら、韓国の伝統的な「韓紙」を用いた提灯作りに取り組み、完成した提灯を会場に展示しました。また、このワークショップにあわせて、参加者の肖像写真を撮影し、後日そのイメージを用いた作品を制作しました。12月16日には、オープンスタジオとして美術館での作品制作や展示準備の様子を一般公開し、来館者はアーティストに質問するなど、興味深そうに見学しました。

展示公開した会場は、光を効果的に使った作品によって幻想的な雰囲気に包まれ、若い世代を中心に多くの方々が訪れました。

本イベントを通じて、普段目にすることができない韓国の現代アートに触れる機会を創出することができたと同時に、ワークショップやオープンスタジオなど、市民がアーティストと直接交流する機会もあり、日本と韓国の文化交流を図ることができました。



Photo : LEE SOONPYO

## 事業報告 都市間交流事業 文化団体連携事業

### 映画撮影 斎藤工監督「縁石第四稿」

開催日／2022年5月16日(月)～22日(日)  
会場／別府ブルーパード劇場(別府市)ほか  
来場者数／14人  
主催／別府短編映画制作実行委員会



「映画の力で大分県を元気にしよう!」というコンセプトに賛同していただいた俳優の斎藤工氏を監督に迎え、すべて県内でロケーション撮影を行った短編映画を制作。また、斎藤監督の「将来の夢の選択肢を多く持ってほしい」という想いを受け、県内の高校生を対象とした映画制作に関する講演会も実施しました。

### TAKETA室内オーケストラ九州第2回定期演奏会 ～日中韓音楽でつなぐ 新しい未来に誓う新世界～

開催日／2022年5月29日(日)  
会場／竹田市総合文化ホール グランツたけた(竹田市)  
来場者数／252人  
主催／一般社団法人九州シティフィルハーモニー協会



大分県初のプロオーケストラ「TAKETA室内オーケストラ九州」に、韓国の人気指揮者 アドリエル・キム氏を招いて小編成のオーケストラ公演を実施。キム氏が今回の公演のために管弦楽版に編曲した瀧廉太郎の「箱根八里」や、ドボルザーク作曲の交響曲第9番「新世界より」、ショパン作曲ピアノ協奏曲第1番の室内オーケストラ版を演奏しました。

### 第一回舞踊公演～舞姿初夏の彩り～ さいき芸能花舞台

開催日／2022年5月29日(日)  
会場／さいき城山桜ホール(佐伯市)  
来場者数／575人  
主催／佐伯市文化振興会 芸花



今回の公演は、新たな企画と構成を取り入れることで魅力的な演目となったこともあり、出演者は皆、わくわくしながら準備を進めてきました。公演当日も予想を超える多くの方にご来場いただき、ステージに立つ子どもたちの愛くるしさや、出演者の懸命な舞姿を楽しんでいただくことができました。

### 耶馬溪 蛭会／hotarue

開催日／2022年6月4日(土)  
会場／tempo テンポ(中津市)  
来場者数／100人  
主催／テンポラリー耶馬溪



中津市耶馬溪町の下郷地域では、有機農法を中心とした持続可能な暮らしが営まれてきました。茶栽培もその一つで、今でも各家の小さな茶畑で自宅用のお茶がつけられています。美しい緑の森林にこぼれる木漏れ日と、夜にはあたり一面に蛭が舞い踊る耶馬溪で、お茶と食文化、音楽、そして自然が織りなす時間を体験していただく一日を、森の中で開催しました。

## ミュージカル『高崎山』サルを呼ぶ男 モンキーマジックレボリューション

開催日／2022年6月26日(日)  
会場／J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数／1,100人  
主催／OITAエンタテインメント



高崎山のサルによる農作物被害を抑えるため、当時の大分市長 上田保氏が困難を乗り越えて「高崎山自然動物園」をつくるまでの物語をオリジナルのミュージカルにして上演。上田市長の強い信念とサルたちとの心の交流が胸に響くストーリーや、子どもたちの完成度の高い「サル」のダンスに好評をいただきました。

## Tanabata Festa OITA 2022

開催日／2022年7月10日(日)  
会場／アミュプラザおおいた駅前広場(大分市)  
来場者数／3,000人  
主催／一般社団法人大分七夕



アジア発祥の七夕をテーマに呈茶席をはじめ、日本文化の素晴らしさを体感してもらうイベントを開催。気軽に立ち寄れるしつらえにして、ひとときの涼を感じてもらうことができました。浴衣姿の来場者も多く、また家族で短冊を飾ったり、和菓子を食べたり、子どもたちの記憶に残る体験として日本文化に触れてもらうことができ、この体験が文化の保護、継承につながると考えています。

## HIT SONG CARNIVAL 2022

開催日／2022年7月16日(土)  
会場／ガレリア竹町ドーム広場(大分市)  
来場者数／375人  
主催／HIGH TENSION FESTA 実行委員会



50's～60'sのアメリカンヒットポップスを中心に演奏をするオールディーズバンド「JB face」と、ルックス・実力共に兼ね備えたK-POPグループ「Kick」が出演し音楽イベントを開催。会場では、観客も一緒に演奏やダンスパフォーマンスに合わせて踊る光景が見られました。また、出演者による合同のパフォーマンスコラボが実現し、会場は大いに盛り上がりました。

## アートプラザ 夏休み子どもフェスタ —東アジア文化編—

開催日／2022年7月16日(土)～8月14日(日)  
会場／アートプラザ(大分市)  
来場者数／1,011人  
主催／アートプラザ共同事業体



大分にゆかりのあるアーティストと大分県を拠点に活動する国際交流・異文化交流を行っている団体による「東アジア」をテーマにしたイベントを開催。展覧会では風蘭氏(書家)による書作品、大塚小百合氏による墨絵、大分県内の学生による水墨画や中国の衣装、韓国の写真などを展示。ダンス、茶道、書道などの体験イベントや硯の講演、アジア民族衣装のパフォーマンスなど、日中韓の伝統文化、生活文化が体験できる場となりました。

## 竹田市発信のJapan Galleryによる展覧会「I am here」展、 韓国の伝統舞踊による無料公演とワークショップ開催

開催日／2022年7月16日(土)～8月28日(日)  
会場／竹田市歴史文化館・由学館(竹田市)  
来場者数／2,027人  
主催／合同会社コネクトプラス



竹田市や大分県にゆかりのある現代アートのアーティスト6人の展覧会を開催。併せて韓国からの特別招聘の舞踏家による伝統舞踊公演を開催。竹工芸や彫刻、染色などの作品を展示する会場で伝統舞踊の演目の説明を挟みつつ、作品とコラボレーションしながら舞踊、歌、琴演奏などを披露。また各アーティストによるワークショップ、アーティストトークは満席となり、好評にて終わることができました。

## Queen Bee Presents スゴ技ショータイム in 鶴崎 ～East Asian illusionists～

開催日／7月18日(月)  
会場／鶴崎校区公民館(大分市)  
来場者数／64人  
主催／Queen Bee



東アジアで活躍するマジシャン・パントマイムのエンターテイナーたちが鶴崎に集結し、会場を盛り上げました。また、立命館アジア太平洋大学の留学生を招待して、観覧・マジックの手伝いをしていただくことにより交流を図りました。来場者からは「パントマイムを目の前で見るのが初めてだったが、テレビよりもすごさが伝わってきた」「生で見るとすごく楽しかった。自分もマジックを覚えているんなりに披露してみたい」との感想をいただきました。

## つるさき芸能フェスティバル ～From TSURUSAKI to EAST ASIA～

開催日／2022年7月17日(日)  
会場／鶴崎校区公民館(大分市)  
来場者数／73人  
主催／つるさき芸能文化町おこし実行委員会



シンガーソングライターやパントマイムのストリートパフォーマー、ものまね芸人らによる鶴崎市街地の活性化を目的としたイベントを開催。来場者からは「鶴崎でエンターテインメントを見られる貴重な機会だった」「個性的なパフォーマーが揃っていて楽しかった」などの声をいただき、大盛況のうちに幕を下ろしました。

## キッズシアター Project 『ボクの地球(エルダ)を探して』

開催日／2022年7月23日(土)  
会場／J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数／1,020人  
主催／アートワーク



弱虫の少年ピーターが、本当の強さと優しさを問う冒険活劇。コロナ禍の中での公演でしたが、数多くのお客さまにご来場いただくことができました。来場者からは、「大分でこれだけ本格的な演劇が見られるとは思わなかった」「キッズシアターなのに全然キッズじゃなかった」という嬉しい感想をいただくとともに、再演を望む声が多く寄せられました。



## さいきHAZUMUコンサート

開催日／2022年7月24日(日)  
会場／さいき城山桜ホール(佐伯市)  
来場者数／135人  
主催／カナデヨウ実行委員会



出演する文化団体の育成と交流、三世代が楽しめる地域全体の活性化を目的に開催。子ども太鼓や子ども神楽、キッズコーラスなど、未来を担う子どもたちやプロのアーティストが出演しました。各団体それぞれが大きなステージを経験することができ、またプロのアーティストとキッズコーラスとのコラボなど、この日だけ実現した演目もあり、出演者の文化育成につながる事業になりました。

## USA★ミュージカル体験ワークショップ

開催日／2022年7月31日(日)～12月18日(日)  
会場／宇佐文化会館ウサノピア(宇佐市)ほか  
来場者数／65人  
主催／演劇集団P-nuts



参加者は7歳～66歳までの演劇未経験の男女。ダンスや発声、歌唱、感情表現などの学びを終えた後、それらを取り込んだ舞台表現に挑戦。性別や年齢を越えた仲間と和気あいあいと楽しく取り組んでいました。参加者からは、「どんどん面白くなった」「アイデアを出し合って、シーンを作るのが楽しかった」などの意見をいただきました。

## 「アライブ」 音楽で人と地域をつなぐ

開催日／2022年7月26日(火)～11月27日(日)、12月28日(水)  
会場／大分県立美術館(大分市)、  
このね自由の学校(豊後大野市)ほか  
来場者数／400人  
主催／一般社団法人あらしき



人と地域を音楽で結びイベントを開催。県内各地の障がいのある方と積極的に音楽活動をする個人・団体等に参加してもらうことで、「人」を育て、活かすとともに、「大分県立美術館 障がい者アート展」という大きな企画展期間に音楽会を実施。多様な人が集う交流の場を提供し、新たな芸術との出会いの場をつくり、県民の方に文化芸術に対する情熱を高めてもらう場を創出することができました。

## 東アジアから創造する宇宙・未来・平和 ～模型づくりを通じた親子の共育～

開催日／2022年8月13日(土)・14日(日)  
会場／アミュプラザおおい(大分市)  
来場者数／81人  
主催／株式会社 臼杵屋



大分を「宇宙×模型」で盛り上げるため、模型・ジオラマを制作するイベントを開催。プロモデラーとして有名なおおごしともえ氏を講師に招き、親子の参加者を対象に、「サイエンスボックス 宇宙大作戦」、「科学と実験セレクション ロボクワガタ」をテーマにしたワークショップを行いました。参加者たちは熱心な様子で模型づくりに取り組んでいました。

## Nogakudo night museum

開催日／2022年8月20日(土)  
会場／平和市民公園能楽堂(大分市)  
来場者数／252人  
主催／平和市民公園能楽堂共同事業体



舞踊家 梅川言ノ氏によるライブパフォーマンスをはじめ、書道家、画家、写真家、映像ディレクターなどが、「日本の夏」をテーマに、各アーティストによる様々な角度から日本の伝統文化をベースに近未来のアートを演出。伝統の奥深さを知ることによって県民の伝統文化への情熱をさらに高め、アートと文化を五感で感じ想像力を豊かにし、創造的な地域づくりの一歩となりました。

## Blue Rose Live in パークプレイス大分 ～From Oita to East Asia～

開催日／2022年8月21日(日)  
会場／パークプレイス大分(大分市)  
来場者数／103人  
主催／Blue Rose



音楽イベントを通じた文化交流を目的に、大分県で活躍するシンガーや韓国出身のシンガーソングライター等が登場。身近な楽曲を韓国語で編曲・歌唱することにより東アジアの相互理解・連帯感を醸成しました。

## East Asian Diva 2022

開催日／2022年8月21日(日)  
会場／ギャラリー竹町ドーム広場(大分市)  
来場者数／321人  
主催／HIGH TENSION RECORD 株式会社



東アジアで活動するアーティストが集う音楽ライブを開催し、異文化の交流と東アジアで活躍する歌姫たちによるサミットが実現。韓国出身のアーティストや大分県内の留学生にも参加いただき、文化交流を深めることができました。元シャ乱Qのつくく氏プロデュースのプロジェクトでデビューした「アラフォーアイドル輝けプロジェクト(香港のツァコン・ローズ)」などが出演。県外からもファンが多数来場し、熱気に包まれた音楽イベントとなりました。

## ソーイングライヴ

開催日／2022年8月21日(日)  
会場／大分県立美術館(大分市)  
来場者数／70人  
主催／大分県洋裁技能集団



体の前後46か所を採寸し、そのうち26か所の数字を製図に落とし込むことで誰でも簡単に原型作図ができる製図法を広めたいという思いから、採寸から製図、縫製、仕上げまでをライブで披露。観客による布の彩色や、希望者の中からモデルを選び、グループワークで3着の服が完成。障がいのある方の参加もあり、洋裁技術に障がいの壁がないことを実証できました。この製図法を障がいのある方のための服づくりにも浸透させたいと考えています。

## MUSIC ARK from OITA ～Cross-border friendship to East Asia～

開催日／2022年8月27日(土)  
会場／ガレリア竹町ドーム広場(大分市)  
来場者数／186人  
主催／企業組合オフィスケイ



東アジアで活躍する国際色豊かなアーティストたちによるサミットが実現。出演アーティストは、イタリア、カナダ、日本で活躍しているイタリア出身の「Fabio Di Fazio」、50's～60'sのアメリカンヒットポップスを中心に生演奏するオールディーズバンドの「JB face」が出演。それぞれの音楽に魅了され、足を止め聞き入る人も多数見られました。

## うすきものウォーク

開催日／2022年8月28日(日)  
会場／久家の大蔵(臼杵市)  
来場者数／40人  
主催／株式会社ディヴァイン



臼杵八町大路商店街をはじめとする臼杵市中央市街地で着物をまとった9名のモデルを写真家 藤原次郎氏が撮影。着物と城下町の風情が色濃く残る街並みの美しさ、被写体と写真家双方のプロフェッショナリズムの融合なくしては実現し得なかった作品となりました。また、「うすきものランウェイ」では、和装ファッションショーと併せてキッズウォークプロデューサーの前田一翠氏のもとに集まった18名の子どもたちにも元気に歩いてもらいました。

## 第11回香りの企画展 「東アジアからもたらされた香りの世界」

開催日／2022年9月1日(木)～12月28日(水)  
会場／大分香りの博物館(別府市)  
来場者数／12,759人  
主催／大分香りの博物館



東アジアから伝わった香文化が日本でどのように発展し、今日に至ったのかをテーマに、当館所蔵の香炉や香木、香道具10点と、解説パネル20枚を展示。常設の「香りヒストリーギャラリー アジア、日本」コーナーに展示した35点も同時に鑑賞してもらえるよう紹介するとともに、関連した公開講座を2回開催しました。

## 東アジア3カ国えんげき会

開催日／2022年9月3日(土)  
会場／ゆふいんラックホール(由布市)  
来場者数／180人  
主催／劇団立見席



日中韓の昔話や逸話を朗読と演劇、オリジナル楽曲を用いて上演。韓国と中国の物語は、日本に伝わるお話と似ている部分が多く、絵本(紙芝居)の朗読だけでなく、シーンに合わせて民族衣装を着た役者が登場することで、3カ国の共通点を感じてもらうことができたと思います。今回は地域の小学校を招待し、子どもたちが演劇や生の舞台を観るきっかけをつくることができ、有意義な公演となりました。

## 2人のピアニストによる おんせんぴあのコンサートツアー OITA

開催日／2022年9月4日(日)・23日(金)・11月11日(金)  
会場／富士屋一也百(別府市)、ブリックブロック(大分市)、  
日田市民文化会館 パトリア日田(日田市)  
来場者数／141人  
主催／piano duo purete



県内各地(別府市・大分市・日田市)をまわり、YouTubeチャンネルも活用してピアノ連弾と2台ピアノの魅力を伝えました。大分県ゆかりの瀧廉太郎の曲や、進撃の巨人オープニングテーマなど、会場の雰囲気に合わせてポップスからクラシック、ジャズテイストのものまで幅広く選曲。音楽を通して大分の魅力を県内外の方に再認識してもらい、お客さまと一緒にコンサートづくりができたと思います。

## おおいた演劇の会15周年記念事業 「演劇人のための身体ワークショップ」

開催日／2022年9月4日(日)～12月11日(日)  
会場／コンパルホール(大分市)ほか  
来場者数／197人  
主催／おおいた演劇の会



「演劇人のための身体ワークショップ」と題し、演劇経験を問わず参加者を募り、ダンスや歌唱、日舞、身体表現の4つのテーマで各数回にわたるワークショップを開催。演劇表現のベースである「身体」を様々なアプローチで紐解き、新たな表現や創造力の発見を目指しました。経験者にはスキルアップを、未経験者には演劇をより身近に感じてもらうことで、舞台への興味を持つきっかけの場となりました。

## 第8回大分の新女流書展

開催日／2022年9月6日(火)～11日(日)  
会場／大分県立美術館(大分市)  
来場者数／1,827人  
主催／大分の新女流書展



大分県立美術館の広い会場に、力みなぎる17名の女流書家の大作が並び、永年の女流書展ファンの皆さまからは「良いパワーをいただけました」と絶賛の声をいただき、とても嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。会期中は絵馬や年賀状などを古代文字で書くワークショップも開催。海外の方も参加していただくことができ、とても充実したものになりました。

## 線と線 ～(故)阿部久子と戸口勝山の書～

開催日／2022年9月13日(火)～17日(土)  
会場／大分県立美術館(大分市)  
来場者数／551人  
主催／驥の会



中央展で活躍し、大分県仮名書道の中核にいた(故)阿部久子と、現在県書道界をリードする漢字書家 戸口勝山氏の二人の作品により、仮名と漢字の書の線の違いを提示しました。阿部久子の仮名作品は巻子、折帖を中心に70点、戸口氏の漢字作品は壁面を飾る額作品を中心に約30点を展示。「書は線芸術であり、線は生きものである」ことを、作品を通して表現することができました。

## 日中文化交流展2022

開催日／2022年9月13日(火)～12月31日(土)  
会場／大分県立美術館(大分市)ほか  
来場者数／8,068人  
主催／NPO法人遊鳳国際文化交流協会



温州紫雲山書画院の会員を招聘し、絵画の公開制作や交流会を開催。大分県立美術館では、温州市と県内の幼児、小学生の絵画を展示し、それぞれの子どもたちが自分の興味を絵画で伝えました。そのほか温州市と県内の書道家による書画展を開催することに加え、大分市の浄慶寺では雲龍図(日本画)の制作展示を行うなど絵画や書画を通じ、様々な交流を行いました。

## CLASSIC STYLE 演奏&講演会

開催日／2022年9月23日(金)  
会場／ふくろうの森ビル(大分市)  
来場者数／37人  
主催／大分服飾文化研究会



クラシックスタイルの第一人者である赤峰幸生氏を東京からお招きして、大分在住の演奏家による演奏を楽しみながら、服飾の着こなしや、日本や大分の四季についてお話いただきました。音楽と服飾のイベントを融合することで、新たな出会いの創出と交流がより深まる場になりました。地域の魅力ある四季の移り変わりを共に再認識し、「魅力ある大分を盛り上げていきたい」という声を来場者から多数いただきました。

## コントラクトブリッジ大分大会

開催日／2022年9月23日(金)・24日(土)  
会場／レンブラントホテル大分(大分市)  
来場者数／31人  
主催／コントラクトブリッジ同好会



九州各地域から参加をいただき、1日目は2人1組のペア制、2日目は4人1組のイーブンチャンスチーム制で競技を行いました。大分のメンバーは、経験が浅く、本格的な大会への参加が初めての方がほとんど。その一方で県外からの参加者は日本代表の方がいるなど、非常にレベルが高く、貴重な経験ができる大会となりました。この機会を通じて会員のモチベーションも格段に上がってきました。

## 華道家元 池坊国東半島支部花展

開催日／2022年9月23日(金)・24日(土)  
会場／国東市中央公民館(国東市)  
来場者数／213人  
主催／華道家元 池坊国東半島支部



今回の花展では会員一同が創意工夫を凝らした素晴らしい作品ができました。「いけばな体験コーナー」を3回開催し、全て満席に。老若男女の皆さまが熱心に取り組まれている姿はほほえましく、小学生も質問をしながら一生懸命取り組まれていました。これからも生け花を通して「おもてなし」の心を伝え、地域文化・東アジア文化の発展に協力していきます。

## OITA MUSIC & ART TRAIN

開催日／2022年9月25日(日)  
会場／ガレリア竹町ドーム広場(大分市)  
来場者数／246人 オンライン視聴者数174人  
主催／大分イベント応援プロジェクト実行委員会



地域の人々にカジュアルな芸術文化を体験して楽しんでもらえるよう、大分で活躍するアーティストを中心に、音楽やストリートパフォーマンスなど様々なジャンルのアートパフォーマンスのオープンイベントを開催。幅広い年齢層の方々が来場し、商店街も賑わい、「人」と「街」に活力を与えることができました。またオンライン配信も実施し、大分の芸術文化の魅力を県内外に発信することができました。

## フランチェスコ・ミケーリ氏による レクチャーコンサート

開催日／2022年9月29日(木)  
会場／iichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／200人  
主催／イリーミュージック



イタリアで活躍する世界的オペラ演出家のフランチェスコ・ミケーリ氏を招聘し、解説付きコンサートを開催。モーツァルトやドニゼッティのオペラの名曲を大分二期会所属の声楽家により演奏。午後のレクチャー講座では、通常のコンサートよりも会場の一体感を味わえる体験ができ、「オペラの楽しみや知識、興味が自然と湧くような公演がもっと増えたら」との感想も多く寄せられました。

## 東アジア文化都市大分県開催記念 第4回日韓友好のつどい in OITA

開催日／2022年9月30日(金)・10月1日(土)  
会場／J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数／700人  
主催／日韓友好のつどい in OITA実行委員会、  
NPO法人 日韓芸術文化交流会



日本と韓国の相互理解や文化の交流を図るイベントを開催。歓迎公演では、韓国の慶州ガラム芸術団による伝統演舞の披露や、映画上映、日韓文化フォーラム、韓国屋台村、韓国慶州写真展など、様々な催しを行いました。コロナ禍で容易に韓国に行くことが難しい昨今、韓国よりゲストを迎え、韓国文化に実際に触れ、参加者が喜ぶ姿が当イベントを行った意義につながったと思います。

## 東勝吉 水彩画展

開催日／2022年9月30日(金)～10月13日(木)、12月25日(日)  
会場／アートプラザ(大分市)、東勝吉常設館(由布市)  
来場者数／791人  
主催／NPO法人由布院アートストック



83歳から本格的に絵筆をとり、湯布院の風景を描き続けた東勝吉の大分市では初となる個展を開催。また、韓国慶州市の東国大学教授でアーティストのパク・ジョンヒ氏を招き、「慶州市の都市再生過程における芸術の役割」についての講演会を開催し、まちづくりにおける芸術の役割について意見交換を行いました。

## 府内まちなかJAZZ 2022 特別編 -THE JAM-

開催日／2022年10月1日(土)・2日(日)  
会場／ふないアクアパーク(大分市)ほか  
来場者数／180人  
主催／府内まちなかJAZZ実行委員会



「エレクトリック神社バンド」の演奏をメインに、地元ミュージシャンバンド5組が出演。会場美術は北村直登氏が手掛け、音楽とアートのコラボが実現。音楽や美術に関心を持った来場者が自然と増え、くつろぎながら楽しむ姿も見られました。ミュージシャン同士の交流により、地域に根付いた音楽に対し、新しい音楽手法の視点が加わる様子も見られました。参加者も来場者も大きな刺激を受けた様子で、音楽文化の発展・技術向上に寄与できたと感じています。

## おおいた夢色音楽祭2022 東アジア文化都市交流ステージ

開催日／2022年10月8日(土)  
会場／若草公園(大分市)  
来場者数／約150人  
主催／おおいた夢色音楽祭実行委員会



大分市中心市街地の各所に設置したストリートステージで様々なジャンルの演奏を繰り広げる「おおいた夢色音楽祭」において、「東アジア文化都市交流ステージ」として、様々な文化団体が、日本、中国、韓国の国際色豊かなステージを披露しました。

## 寒田ギター・マンドリンクラブ 40周年メモリアルコンサート

開催日／2022年10月2日(日)  
会場／コンパルホール(大分市)  
来場者数／約400人  
主催／寒田ギター・マンドリンクラブ



演奏会では心を合わせて音楽を作り上げ演奏する姿に多くの方が感動され、訪問演奏への問い合わせ等今後の活動の広がりへとつながりました。また、ワークショップでは実際に楽器を手に取って音を出したり、指揮者になってタクトを振る体験を通して、より楽器や音楽に興味関心を持っていただけました。来場者からは「選曲が素晴らしく感動し、涙した」「会場全体に一体感があった」などの感想をいただくことができました。

## 文化交流お呈茶席

開催日／2022年10月8日(土)  
会場／ガレリア竹町ドーム広場(大分市)  
来場者数／296人  
主催／一般社団法人 大分青年会議所 茶道同好会 大分青松会



県内外から訪れた方々に茶道の文化と大分の可能性を感じてもらおうと呈茶席・ライブペイントを開催。ご家族やお友だちとお茶を飲みながらライブペイントの絵が完成するのを眺めている姿が多くあり、大盛況でした。来場者から作法の質問をいただくなど、普段茶道に触れる機会の少ない方にも興味を持っていただけたと思います。

## 東アジア文化都市(東アジアを楽しもう!)

開催日 / 2022年10月8日(土)  
会場 / 鳳凰台広場(韓国慶州市)  
来場者数 / 7,000人  
主催 / 日田もりあ下駄い



「日田もりあ下駄い」は、日田下駄を履いたダンスパフォーマンスを通じて日田市を多くの方に知ってもらおうと活動しています。今回、韓国慶州市の威徳大学日本語文化学科の学生さんや先生方と交流を深めるとともに、慶州市でダンスパフォーマンスを披露しました。威徳大学の皆さんも最前列で応援してくれて、大いに盛り上がりました。今後とも離れていても韓国と日本の文化をお互いに見つめ続けあえるような関係を育てていきたいです。

## 花使いライブ／龍神花祭

開催日 / 2022年10月8日(土)～10日(月)  
会場 / 長崎鼻リゾートキャンプ場(豊後高田市)  
来場者数 / 200人  
主催 / 里山を守りともに生きる会 N.E.W.B.H



製作展示とライブで構成。「祈りのモニュメント」は3日間献花を行い、完成後に一部を「龍神宮」に安置しました。また、花使いライブは、花の生け込みプロセスを見せるイベントで、県内在住ミュージシャンがセッション形式で楽器の生演奏を添えることで、東アジア地域との交流を意識した内容にしました。長崎鼻の自然と一体化した神秘的な空間に包まれ、来場者からも「とても感動した」などの感想をいただきました。

## 小さな温泉芸術祭 湯の上FOREVER!

開催日 / 2022年10月8日(土)・9日(日)  
会場 / DABURA.m、紙屋温泉(別府市)  
来場者数 / 100人  
主催 / 湯の上実行委員会



撮影：藤原綾子 写真提供：DABURA.m

別府市内に点在する共同温泉を主会場にした芸術祭。蓮沼執太氏(音楽家)、若林美保氏(踊り子)、DJ Kawakawa、月亭太遊氏(落語家)、手塚夏子氏(振付家・ダンサー)による公演を行いました。温泉や観光で知られる別府の寛容さや持ち前の明るさと共鳴するようなサイトスペシフィシティ(土地・場ごとの固有性)を発揮し、「来年もまた開催してほしい」「次回開催が待ちきれない」といった声が寄せられました。

## 宇宙を文化スル「月と星と宙のコンサート」 ～日中韓アーティストの響演

開催日 / 2022年10月9日(日)  
会場 / J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数 / 350人  
主催 / 大分朝日放送株式会社



大分空港が宇宙港となることが決定した大分県にちなんで、宇宙をテーマとしたコンサートを開催。中国温州市出身の作曲家 潘玺帆氏が、この舞台のために温州市の民謡を元にした「旅人の故郷の記憶」を作曲。韓国入フゴット奏者 チェ・ヨンジン氏、中国人二胡奏者 MAYA氏、大分の合唱団 マトリカリアコール、ピアノ奏者 後藤秀樹氏の日中韓3か国の響演が実現。温州の美しい風景を映し出しながらの、優しく悠大な調べに、大きな拍手が沸きました。



## 淡窓伝光霊流中津詩道会 発会85周年記念大会

開催日／2022年10月10日(月)  
会場／中津文化会館(中津市)  
来場者数／300人  
主催／淡窓伝光霊流中津詩道会



発会85周年を契機として、伝統ある詩吟を一般の方々にも親しんでいただこうと、モンキーパフォーマンス、歌謡吟、津軽三味線などの新しい取り組みを行いました。また、剣舞、詩舞などとの共同舞台や、幼少年吟、高齢者吟、合吟、構成吟などを実施し、最年少となる4歳の子どもも出演するなど、幅広い世代の方の参加をいただくことができました。

## 第8回「親子で楽しむオーケストラ」 ～未就学児対象オーケストラのコンサート～

開催日／2022年10月10日(月)  
会場／J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数／600人  
主催／アトリエ弾



未就学児が楽しむことができるクラシックコンサートを開催。指揮に楠本隆一氏を迎え、元プロ・オーケストラ奏者の佐藤真紀氏によるヴァイオリン独奏や、大分チェンバーオーケストラ、室内楽大分glandなど県内楽団の奏者による演奏が行われました。美しい日本の四季の“秋”を歌った曲をオーケストラ曲に編曲して披露し、観覧した親子から「オーケストラの迫力に圧倒された」などの声が寄せられました。

## 佐伯市地球のステージ 「世界の子どもたち」事業

開催日／2022年10月10日(月)  
会場／さいき城山桜ホール(佐伯市)  
来場者数／307人  
主催／佐伯市子ども夢まちづくり実行委員会



心療内科医の桑山紀彦医師が世界各国の医療支援活動で出会った子どもたちについて、音楽と映像によって伝える公演でした。桑山医師が国際医療協力を志したきっかけや、世界各国での医療支援活動などについて語り、音楽や映像を通して命の輝きや、人権の尊さを訴え、心に響く公演会となりました。「今後学校でも取り組みたい」という声も聞くことができ、今回の事業の意義が伝わったと実感しています。

## アウトサイダーアート展 YUKEMURI DISCO

開催日／2022年10月12日(水)～23日(日)  
会場／OFFICE & SAKABA フッド(別府市)  
来場者数／600人  
主催／naNka



湯けむりをテーマとしたインスタレーション作品の展示とともに、中国の屋台料理イベントや、東アジアの民俗音楽に合わせたライブペインティングを行いました。湯けむりチャームづくりなどの参加型のイベントも用意することで、互いの文化を理解、尊重し、多様性を実感できる学びの場とすることができました。

## 希美個展「夢の空間」

開催日／2022年10月19日(水)～11月3日(木)  
会場／J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数／725人  
主催／夢パルーン実行委員会



障がいを持ちながら、コツコツとパソコンで絵を描く池田希美氏の作品と、前向きな生き方を紹介することを目的に、電動車椅子や、大型車椅子の人たちも入場できるバリアフリーの会場で開催。新作の「doctorheli～ドクターヘリがやってきた～」をはじめ、約20点の絵画を展示しました。数多くの来場者に見てもらうことができ、本人の様子を伝える冊子も配布できました。

## 関の鯛つり唄踊り to EAST ASIA

開催日／2022年10月22日(土)  
会場／アミュプラザおおいた(大分市)  
来場者数／221人  
主催／関の鯛つり唄保存会



県内の民謡の保存と伝承を目的とした国際文化交流を行うため、韓国慶州市の団体を招き、鯛つり唄踊りの体験ができるイベントを開催。鯛つり唄踊りの韓国語バージョンの楽曲を準備し、慶州市からの参加者にも鯛つり唄踊りの内容を理解しやすくして、文化の楽しみを分かち合いました。来場者からは「子どもと一緒に楽しんで踊れた。唄も楽しくて耳に残った」「日本語も面白かったが、韓国語の歌詞が面白くてさらに楽しかった」などの感想をいただきました。

## 東アジア文化交流フェスタ2022大分県

開催日／2022年10月22日(土)  
会場／ふないアクアパーク(大分市)  
来場者数／1,000人  
主催／NPO法人Sa-Na・エンタープライズ



中国との文化交流活動をする「大分二胡アンサンブル」と、大分市府内町を拠点とするK-POPダンススクール「Neo Base dance school」に加え、日本を代表する国際的な津軽三味線演奏者の一人、大野敬正氏をメインゲストに招聘し、アジアの文化を身近に感じることのできるイベントを開催。開催会場の商店街や商工団体の協力のもと、芸術文化・国際交流活動による賑わい創出や地域の振興に寄与することができました。地元住民や県内外から多くの来場者に観覧していただきました。

## 桐子&さくら 二胡&中国琵琶コンサート ～陶絃響～

開催日／2022年10月22日(土)・23日(日)  
会場／コンパルホール(大分市)、  
竹田市総合文化ホール グラントツたけた(竹田市)  
来場者数／166人  
主催／プロジェクトきよいま



桃源郷をイメージしたステージで、桐子&さくらの二胡と中国琵琶による癒される音色や、疾走感のある超絶技巧演奏を披露。中国伝統曲、J-POP、クラシックなどさまざまな曲が奏でられ、素晴らしいパフォーマンスを披露してもらうことができました。ハイグレードの音響設備から伝わる中国の擦弦楽器と、撥弦楽器の特色のある音色のアンサンブルサウンドがとても心地良く、二人の演奏の魅力に惹き込まれました。

## おおいたまちなかアート！

開催日／2022年10月22日(土)～12月25日(日)  
会場／アートプラザ(大分市)ほか  
来場者数／678人  
主催／元気のでるアート！実行委員会



県内在住の障がいのある作家22名の絵画(絵手紙・切り絵・デジタルアート・ペン画等)や陶芸作品400点以上を展示。ワークショップでは、缶バッジやクリスマスカードをつくり、簡単でありながら創意工夫もできる内容だったと大好評でした。

## 着物・茶道がつなぐ異文化交流 ～From Oita to East Asia～

開催日／2022年10月23日(日)  
会場／アミュプラザおおいた(大分市)  
来場者数／178人  
主催／月灯り



韓国慶州市から来県した団体や立命館アジア太平洋大学の留学生を招き、着物・草履・茶道を通じた国際交流を実施。ブース内には着物や帯だけでなく、大分県の特産品である日田下駄の展示ブースを設置し、日本の文化や大分県産品を紹介しました。また、着付けやお茶体験ができるブースも準備し、参加者は写真や動画をSNSへ投稿して、楽しんでいました。

## 日本舞踊 藤間流 参加型体験教室

開催日／2022年10月23日(日)  
会場／アミュプラザおおいた(大分市)  
来場者数／150人  
主催／貴美千佳の会



藤間流の日本舞踊を通じて着物に親しんでいただき、日本の礼儀作法を伝える国際文化交流を実施。着付け体験に参加した留学生からは「日本の伝統的な服を初めて着たが、締め付けが強く驚いた」「この服装であれば優雅に見える所作になる気がする」との感想をいただきました。

## クリエイターといういきもの ～OITA DESIGN POWER 2022～

開催日／2022年10月23日(日)、11月10日(木)、19日(土)、25日(金)・26日(土)  
会場／CREATIVE BASE FAB(日田市)、public house えてふえて(由布市)ほか  
来場者数／166人 主催／大分県デザイン協会



クリエイターが「何のためにその仕事をしているのか」という観点から、どんなことを考えて、生業としているのかを表現したイベントを開催。メイン会場のCREATIVE BASE FABでは、パネル及び作品展示、座談会、SNS運用やデザインに関するワークショップなどを行い、日常的にデザインやクリエイターと接点のない方にも活動内容を知ってもらうことができ、参加者から好意的な感想をたくさんいただきました。

## 二州の書展

～韓国慶州と九州大分県の書家たち～

開催日／2022年10月25日(火)～30日(日)  
会場／旧慶州駅(韓国慶州市)  
来場者数／1,000人  
主催／千響の樹



韓国慶州市書道展に若輩の会より作品50点を送り、慶州書家作品と中国書家作品とともに展示。旧慶州駅内では掛軸として、屋外広場では灯籠として飾られ、昼と夜の景色の美しさとダイナミックな場所による、新しいかたちの作品展示となりました。イベントでは戸口勝山氏の漢字の書と吉野由紀氏の仮名の書のパフォーマンスなどを行い、観衆から歓声が上がりました。慶州の書家や慶州市長との貴重な交流ができ、今後につながったと思います。

## 日韓子ども民俗芸能祭

開催日／2022年10月29日(土)・30日(日)  
会場／J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数／986人  
主催／おおいた民謡・民俗芸能活性化委員会



韓国慶州市と大分県との次世代舞台交流を開催。大分県からは姫島キツネ踊り、津久見扇子踊り、庄内子供神楽、県立由布高校の庄内神楽、韓国慶州市からは韓国国内でも人気のリトルエイン舞踊団が共演・饗宴しました。舞台交流のみならず2日間にわたり楽屋交流でも子ども同士の屈託のないフレンドリーな交流となり、日韓交流の未来を感じる素晴らしい機会になりました。

## OITA MAGIC RALLY 2022

開催日／2022年10月29日(土)  
会場／ガレリア竹町ドーム広場(大分市)  
来場者数／231人  
主催／株式会社 キャンティ



東アジアで活躍するマジシャンたちによるサミットが実現。ダンスと融合したマジック、毛糸やバルーンなどを使ったマジックなどが披露され、会場を盛り上げました。また、大分県内の留学生とも参加型マジックを通して交流を図りました。参加者からは、「マジックもたくさん種類があるんだなと驚いた」「自分でもできるようになって友達や家族に披露して驚かせたい」といった感想をいただきました。

## 大分路上観察学会ぶれぜんつ 小藩分立トマソン報告会

開催日／2022年10月29日(土)、11月26日(土)～12月4日(日)  
会場／柴田モータース(佐伯市)、布屋ビル(大分市)ほか  
来場者数／322人  
主催／大分路上観察学会



まちあるきイベント「トマソン探偵団」や展覧会「oita超／芸術city2022」の実施に加え、路上観察学会の林丈二氏を迎えシンポジウムを開催。地域の魅力発見を「路上観察」という新たな視点で、街中の生活環境から能動的に楽しむことのできる文化資源の創造と、新たな文化都市を生み出す人材育成を図りました。参加者からは「見慣れたまちの見え方が変わった」「新しいものの見方のフィルターを得ることができた」といった感想をいただきました。

## カタスマイカイ芸術祭

開催日／10月29日(土)～12月11日(日)  
会場／若宮商店街周辺(杵築市)  
来場者数／約2,500人  
主催／カタスマイカイ芸術祭実行委員会



杵築市山香町の若宮商店街周辺を会場にして、12名の現代美術家と地元作家による総合芸術祭を開催。大正13年に建てられた小野家離れや、天守閣風の個人住宅など、会場の面白さと個性的な作家の展示が相まって、見応えのある芸術祭となりました。町を歩いてめぐることや、盆踊り大会、舞踏、句会、トークショーも大好評でした。

## 俗族zoku zoku展

開催日／2022年10月30日(日)～11月13日(日)  
会場／旧朴木小学校(由布市)  
来場者数／650人  
主催／朴木アトリエ



美術作家の榎園歩希氏による企画・プロデュースで、由布市庄内町の竹細工職人と旧校舎で芸術活動に励む子どもたちによる「アニミズム」をテーマにした作品などを展示するほか、美術家 藤原雅哉氏によるワークショップや写真家 藤田洋三氏によるトークイベントなどを開催。竹のオブジェは好評で、多くの人々にゆっくと鑑賞してもらうことができました。

## Japan Museum

開催日／2022年11月1日(火)  
会場／慶州市甘浦小学校(韓国慶州市)  
来場者数／130人  
主催／株式会社テイクファイブ



舞踊家・和楽器奏者・書道家・画家・映像ディレクターなどの各アーティストが様々な角度から日本の伝統文化を演出。舞台上では、舞踊家の梅川吉ノ介氏、和楽器奏者の高野大輝氏、津軽三味線奏者の匹田大智氏、慶州市出身のカヤグム奏者 チェ・ヨンヒ氏によるライブパフォーマンスを実施。日本の芸術と文化を五感で体感することで、慶州市の皆さんの伝統文化への情熱をさらに高め、想像力を豊かにすることができたと確信しています。

## 若手アーティストによる 滞在型作品制作と展示

開催日／2022年11月1日(火)～3日(木)  
会場／大分市宇曾山荘(大分市)  
来場者数／45人  
主催／ローカルアートプロジェクト



「アートの視点から野津原の魅力を伝えたい」と県内若手アーティスト4名が大分市野津原地域にある宇曾山荘に滞在し、野津原の文化や自然などをテーマにアート作品を制作。地域の行事や野津原のスポットに足を運ぶとともに、アーティスト同士で刺激を受けながら、作品制作に取り組みました。トークイベントでは、アートを地域に組み込むことや若手アーティストのキャリア形成について議論し、アートを産業に活用することの重要性などが再認識されました。

## 纏ふ-matou-

開催日／2022年11月1日(火)～30日(水)  
会場／ROOM ROXY(大分市)ほか  
来場者数／約350人  
主催／ART STORAGE企画実行委員会



『布』が新たな価値を生み出すモデルであることを鑑賞し、体験してもらうことを目的として、韓国の伝統工芸「ボジャギ」作家の園田鶴代氏を中心に、古い着物や帯を使用した雑貨などの作品を展示。同時に、ボジャギや布草履制作の体験ワークショップ、被服の研究者である都甲由紀子氏を招いて、『布』にまつわる歴史や素材、手法などについて参加作家と語るトークショーを開催しました。

## 佐伯市東アジア文化フォーラム事業 ～世界で輝く女性たち～

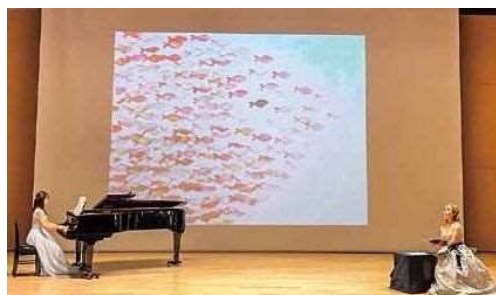
開催日／2022年11月2日(水)～5日(土)  
会場／さいき城山桜ホール(佐伯市)  
来場者数／680人  
主催／特定非営利活動法人 さいき劇場



海外の特色ある女性の活躍に光をあて、文化人によるワークショップや、国際儀礼(マナー教室)、文化トークショーを実施。文化トークショーでは、俳優の常盤貴子氏、映画監督であり料理家でもある大林千茱萸氏、被災地域の医療スペシャリストである桑山紀彦氏、地元の地域学研究者の岩佐礼子氏が登壇。女性の活躍を応援するトークショーを繰り広げました。芸術を力として、地域づくり、観光・産業振興などにも波及する企画となりました。

## 情景ヲ奏デル音楽会

開催日／2022年11月3日(木)～10日(木)  
会場／サリーガーデン(大分市)、  
ゆふいんラックホール(由布市)  
来場者数／340人  
主催／情景ヲ奏デル音楽会



第一部は「スイミー」、第二部は「ごんぎつね」の物語のイメージをもとに描かれたイラストをプロジェクターで投影しながら、この作品のために作曲されたピアノ組曲を朗読と共に演奏しました。湯布院公演では、幼稚園・保育園・小学校の協力のもと、町内ほぼすべての児童が鑑賞。関係者が協同してスイミーの作品を作り上げるなど、芸術への一丸となった取組を経て開催できたことは大きな喜びとなりました。

## 道 未知の世界への扉

開催日／2022年11月5日(土)  
会場／iichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／100人  
主催／PATHMA



生きていくことを“道”で表現したステージ。音楽を軸に、書・バレエ・映像でつないでいきました。三部構成で、一部「うずくまるな」では、『歩きはじめれば景色は変わる』というメッセージを届ける。二部「動きはじめ」では、進みたいが怖さもあり、少しずつ動き始める。三部「未知への扉」では、勇気をもって開けた扉の向こうには、明るい未来と仲間が待っていることを伝える。世界観のある、集中したステージだったとの声をいただきました。

## 劇団設立10周年記念水中花プロデュース公演 「漣-さざなみ-」

開催日／2022年11月5日(土)・6日(日)  
会場／コンパルホール(大分市)  
来場者数／800人  
主催／「宇宙×演劇」実行委員会



大分空港が宇宙港となり、宇宙に近い地域となる大分を舞台として「大分の今を生きる人々」の物語を上演。来場者からは「前向きに一步一步進んでいくためのパワーをもらえた」「自分のしたいことをすることが自分も周りも幸せにできるというメッセージが流れ込んできた」と、たくさんの感想をお寄せいただきました。

## コロ・フェスタ2022 in たけた ～岡城に集う～

開催日／2022年11月5日(土)・6日(日)  
会場／竹田市総合文化ホール グランツたけた(竹田市)  
来場者数／930人  
主催／公益財団法人竹田市文化振興財団、  
コロ・フェスタ2022 in たけた実行委員会



毎年日本各地で開催されてきた「コロ・フェスタ」を、瀧廉太郎ゆかりのまちである竹田で開催。1日目の街角コンサートでは、竹田の城下町と歴史文化館にて、街ゆく人たちや観光客の方も巻き込んだコンサートを行い、2日目のメインコンサートには、地元参加を含めた20の合唱団が参加しました。合唱をした人同士の交流・交歓の場ともなり、合唱を通して地域の魅力を全国へと発信していくことができました。

## 日韓国際美術交流展

開催日／2022年11月5日(土)～13日(日)  
会場／宇佐文化会館・ウサノビア(宇佐市)  
来場者数／700人  
主催／日韓国際美術交流展実行委員会



宇佐市と韓国慶州市が友好親善都市になって以降、様々な交流を行う中で2009年「国際美術交流展」として開催されたことを皮切りに、2010年から隔年で開催。7回目の開催となった会場には、80点の美術作品を展示。来場者は熱心に作品を鑑賞していました。

## 三枝愛「庭のほつれ」なばに祈る

開催日／2022年11月5日(土)～20日(日)  
会場／ドマコモンズ(別府市)  
来場者数／70人  
主催／庭のほつれ実行委員会



三枝愛 庭のほつれ|なばに祈る 2022 撮影：最貴泰介

時間が経つごとに徐々に失われていく「もの」や「こと」や「人」を考え、それらを「残すこと」の意味を問う作品を作り続けるアーティスト 三枝愛氏。今回の展覧会では、しいたけ原木などを素材に選び、大分県の特産品である「しいたけ(=なば)」をテーマにしました。会期前に生しいたけの胞子で絵を描くワークショップ、会期中に「しいたけサミット」なども開催。アートファンとしいたけ関係者も多く来場し、様々に語り合うことができました。

## 長唄に於ける東アジアの風

開催日／2022年11月6日(日)  
会場／コンパルホール(大分市)  
来場者数／82人  
主催／長唄松樹會



会主 芳村孝次女(松永派)は師籍51年を迎え、今まで培ってきたことを皆さまに親しんでいただくため、東アジアに由来する言葉や事柄、曲節を解説しつつ、演奏を進めました。一曲済む折の大きな拍手はもちろん、佳境に入ったところでも拍手をいただき、来場者・演奏者共に高揚感を共有し、良い空間となりました。

## VIA MEDIA

開催日／2022年11月7日(月)  
会場／iichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／196人  
主催／Oita Musik Akademie



前半のプログラムは、なじみのある作曲家 瀧廉太郎の作品をアカペラで披露し、後半は瀧廉太郎と関連の深いドニゼッティ作曲のオペラ「アンナ・ボレーナ」の曲目解説や選定理由をナレーション付きで披露しました。実力派の演奏家がロシア語で「荒城の月」をアカペラ演奏するなど、とても好評でした。

## 国見の画家三人展 東風を待つ

開催日／2022年11月8日(火)～13日(日)  
会場／アートプラザ(大分市)  
来場者数／393人  
主催／東風會



国東市国見町在住の画家三人による絵画展。それぞれの生活の中で捉えた事象を、人間の内面に近づけるアプローチで普遍性を追求した作品を展示。「作品で問う」という画家本来の姿勢で制作に打ち込み、虚飾を排した展示を目指しました。来場者から作品について感じたことを直接聞くことができ、より見え方の幅が広がりました。観客が答えを持っているという芸術の素晴らしさを感じました。

## 沿海マッピング —韓国・慶州—

開催日／2022年11月8日(火)～12月1日(木)  
会場／Qsilla(韓国慶州市)、  
ドマコモンズ(別府市)  
来場者数／30人  
主催／沿海アートの会



韓国の孤児院の先生や子どもたちと共に「蛸みこし」をつくり、皆で担ぎ、歴史を考えるワークショップを開催。複数人で担ぐと、ぐにやぐにやと動く蛸みこしがコミュニケーションを促し、日本と韓国の歴史を考えるプロジェクトになりました。ワークショップ実施後に慶州市の雑貨屋デザインオフィスQsillaと別府市のドマコモンズで報告会を行いました。



## 東アジア文化都市地酒交流会

開催日／2022年11月12日(土)  
会場／お部屋ラボ 祝祭の広場(大分市)  
来場者数／約200人  
主催／特定非営利活動法人  
大分県地酒・焼酎文化創造会議



韓国の慶州市、中国の温州市及び済南市、大分県の酒文化の交流を主題として開催。マッコリを製造する慶州傳統大師の会長と社長が来県し、宇佐市の焼酎蔵と日本酒蔵を案内しました。互いの都市の地酒を紹介し、実際に味わうことにより、地酒について知見を深めることができました。イベント会場では、それぞれの国のお酒の試飲や料理が味わえる屋台が出店され、大いに賑わいました。

## 音と旅するコンサート

開催日／2022年11月13日(日)  
会場／コンパルホール(大分市)  
来場者数／235人  
主催／佐伯市演奏家協会



“世界を音楽でめぐる旅”のコンセプトのもと、ヨーロッパやアジア、アメリカなど、様々な国の作品をヴァイオリン、クラリネット、ピアノ、ソプラノの4つの楽器で演奏。また日中友好特別企画として、中国出身の現代作曲家Yuan Lin氏の『孔雀明王』を披露しました。

## 鉄輪スケッチ大会

開催日／2022年11月12日(土)・13日(日)  
会場／熱の湯公民館及び鉄輪温泉エリア(別府市)  
来場者数／35人  
主催／Kannawa College 鉄輪スケッチ大会実行委員会



鉄輪温泉に今も残る湯治文化は、他の地域にはない唯一無二の文化財と言っても過言ではありません。大分に根付く文化的価値に気が付き、楽しく豊かな思い出として人々の心に残るスケッチ大会を開催。大会前日は鉄輪エリアを散策し、五感で鉄輪の文化を感じ、当日は老若男女がそろう、各々の鉄輪の風景を描きました。講習会でスケッチした絵を見せ合い、講師に評価してもらうことを通して一体感あるイベントとなりました。

## 「智恵子抄」 ～智恵子と高村光太郎の生涯をたどって～

開催日／2022年11月17日(木)  
会場／iichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／376人  
主催／歌曲の会



「日本歌曲」のコンサートで、前半は中田喜直や山田耕筈といった日本抒情歌曲を演奏し、後半は高村光太郎の詩集「智恵子抄」に清水脩が作曲した作品全曲を演奏。智恵子と光太郎がたどった愛の歌を演奏しました。この度の取組で、歌曲愛好家の裾野拡大、次代の声楽界の人材育成ができたことに加え、ネット配信による日本の文化を紹介し、東アジアとの交流に寄与することができました。

## それぞれのPINK展

開催日／2022年11月17日(木)～21日(月)、  
12月13日(火)～18日(日)  
会場／アートプラザ(大分市)ほか  
来場者数／879人  
主催／それぞれのPINK展実行委員会



「それぞれのPINK」を共通項として、4名の作家の作品とともに、企画の一つである「わたしのPINK展」に145名から出品された作品を展示しました。また、会場を鑑賞してPINK色の絵画にチャレンジする企画「PINKに挑む戸」、鑑賞後の感想やPINKのイメージを付箋に書いてボードに貼る企画「PINKをアウトプット」も実施。来場者からは「実験的な展覧会で面白い」といった感想や、「わたしのPINK展」については「テーマがあって参加しやすくキャンパスに掛けて嬉しかった」などの声が寄せられました。

## きらめくわたしのファッションショー

開催日／2022年11月19日(土)  
会場／大分県立美術館(大分市)  
来場者数／140人  
主催／全国障がい者ファッション協会



今回のファッションショーでは、新たな取組として、聾学校の高校生3人が「平和の鐘」という曲を手話ダンスで披露しました。鐘の音に見立てた鈴をたくさんつけた衣装をまとい、鑑賞者には平和の鐘のメッセージとしてその鈴の音を感じてもらうという試みでした。そのほかにも車椅子で生活されている方や、高齢者の方にもランウェイを歩いていただき、大盛況のうちにファッションショーを終えることができました。

## 作家がみた別府 牛島智子・友清ちさと

開催日／2022年11月17日(木)～12月22日(木)  
会場／草本商店(別府市)ほか  
来場者数／100人  
主催／作家がみた別府



福岡から作家を招聘し、ワークショップやトークイベントなどを実施。八女市の美術家 牛島智子氏は、八女手漉和紙と榧蠟(はぜろう)を使った榧ろうそくづくりのワークショップを開催。大分で活動する「青トンカチ」が構成を担当し、アーティスト間の交流も生まれました。また、現代美術作家の友清ちさと氏は、かぼすでエッセンシャルオイルをつくるワークショップを行い、使用したかぼすの皮を立命館アジア太平洋大学の学生が取り組むコンポストに活用するなど、学生との交流も深まりました。

## 障がい者アート展 Beppu Up in 別府大学

開催日／2022年11月21日(月)～30日(水)  
会場／別府大学(別府市)  
来場者数／約200人  
主催／一般社団法人 DESIGNERS COMPANY Y.H2020、  
別府大学



「平和」をテーマにしたアート展を開催。障がいがある方の絵画や書、写真、貼り絵等の作品に加え、会場中央には別府大学の学生や留学生が参加し、制作した地球の巨大ランタン等を展示しました。芸術や福祉を学ぶ学生や東アジア出身の留学生も在学する別府大学での開催により、学生や教職員の目にも留まり、障がいがある方のアートに触れてもらう大変良い機会になりました。

## ユニバーサル舞台芸術フェスティバル inさいき

開催日／2022年11月23日(水)  
会場／さいき城山桜ホール(佐伯市)  
来場者数／368人  
主催／さいきユニバーサル・ミュージカル



大人も子どもも、障がいがあってもなくても、誰もがパフォーマーとして輝けるユニバーサルな発表の場が広がることを願い、自分らしく表現したい仲間が集いました。キッズコーラスやダンスグループ、韓国の民話や詩を題材とした創作ミュージカル「トックビのはなし」の発表、エンディングには出演者全員で手話歌「上を向いて歩こう」を披露。会場全体が一つになり、優しい雰囲気にもまれたひとときを過ごすことができました。

## 千里を繋ぐ風の書展

開催日／2022年11月23日(水)～27日(日)  
会場／大分県立美術館(大分市)  
来場者数／1,142人  
主催／若驥の会



書作家「若い風」と「驥の会」の合同の展覧会を開催。100点以上の作品の展示では様々なジャンルの書の表現を行い、中にはハングル文字を用いた作品も発表。また、中国温州市の作品5点や貴重な拓本を展示しました。各書作家によるトークショーは、日頃聞くことのできない書についての内容となりました。書芸家 キム・サンジ氏と慶州文化協会会長 チェ・ヨンソ氏の講演会では、韓国書芸の貴重な話を聞くことができ、今後の大分県と慶州市の書を通じた交流につながっていくと考えています。

## ぼけっとの会 25周年記念公演 朗読劇 「恩讐の彼方に」

開催日／2022年11月23日(水)  
会場／J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数／210人  
主催／ぼけっとの会



大分の名勝を広め、知っていただくことを目的として、中津市の青の洞門を描いた作品「恩讐の彼方に」を脚色した朗読劇を披露。生の和楽器演奏や舞、衣裳などへの絶賛の声や、大分で活躍する照明スタッフ、舞台監督とタッグを組んだことで「大分で新たな朗読劇が生まれた」と好評でした。また、ホームステイ中の中国出身の高校生が舞台制作アシスタントとして参加するなど、東アジアの交流も果たすことができました。

## マルチカルチュラル・フェスティバル in 杉乃井ホテル

開催日／2022年11月25日(金)～27日(日)  
会場／別府温泉 杉乃井ホテル(別府市)  
来場者数／1,877人  
主催／立命館アジア太平洋大学



立命館アジア太平洋大学の学生が、アジアを中心とする様々な国・地域の芸術・文化などを発信するイベントを実施。各国の文化紹介や楽器・ダンス等の体験コーナー、ファッションショーなどに、会場となった杉乃井ホテルの宿泊者が数多く参加し、盛り上がりを見せました。来場者の満足度も高く、「着せてもらった衣装(リベリア)がとてもきれい!」「ボードゲーム(バングラデシュ)が楽しかった!」など、多くの声が寄せられました。

## 映画監督・俳優による 表現力を磨く演劇ワークショップ

開催日／2022年11月26日(土)  
会場／別府ブルーバード会館(別府市)  
来場者数／40人  
主催／Beppuブルーバード映画祭実行委員会



学校生活の大半をコロナ禍の中で過ごした学生の思い出の場になるようにと、別府市が舞台となった映画制作のワークショップを企画。豊後大野市の大分県立三重総合高等学校の演劇部・放送部の学生を招待し、土屋哲彦監督の映画作品を鑑賞した後、映画制作に関する講演では、俳優津田寛治氏をはじめ、映画に出演した俳優に演技指導をしていただきました。参加した学生から「大変貴重な機会になった」との感想を寄せていただきました。

## ハングル文字を書いてみよう 魅力発信! From Oita to East Asia ～書道がつなぐ文化の架け橋～

開催日／2022年11月27日(日)  
会場／iiichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／119人  
主催／龍と鳥とねずみの筆



書道を通じた国際文化交流を行うため、韓国慶州市から講師を招き、ハングル文字の歴史、成り立ち、書き方などを指導していただきました。また、講師による巨大半紙への書道パフォーマンスが行われ、参加者からは「ハングル文字や書道に対してさらなる興味を抱いた」との感想をもらいました。そのほか、ハングル文字の書道体験や日韓両言語表記の地図づくりを楽しみました。

## フェイクスピア

開催日／2022年11月27日(日)  
会場／学校法人明日香学園(大分市)  
来場者数／200人  
主催／劇団OTC



“フェイク”があふれる現代社会と、イングランドの劇作家ウィリアム・シェイクスピアを掛け合わせた斬新な舞台「フェイクスピア」を上演。演者たちは“恐山”を舞台に“イタコ”が登場する物語を表現しました。息をのむ展開に観客は魅了され、カーテンコールでは拍手が鳴り響き、再公演を希望する声もありました。

## 大分交響楽団第45回定期演奏会

開催日／2022年11月27日(日)  
会場／iiichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／473人  
主催／大分交響楽団



ワーグナー作曲オペラ「神々の黄昏」抜粋と、ブルックナー作曲交響曲第9番を演奏。いずれも編成が大きく技術的に困難な曲ですが、県内外からの参加者を加えた約90名の編成で、重厚感と迫力のある演奏を行うことができました。来場者からは「神秘的でありながらダイナミックな演奏に聴き入りました」「大分に敬虔な思いの種を撒き、今後の大分の芸術の豊かな発展に寄与すると思います」などの感想をいただきました。

## 東アジア アートパフォーマンス フェスティバル

開催日／2022年11月27日(日)  
会場／別府国際コンベンションセンター(別府市)  
来場者数／250人  
主催／ヒッポファミリークラブ大分



日中韓の様々なアートに触れる機会の創出を目的としたイベントを開催。日本舞踊や大衆演劇、K-POPダンス、中国伝統芸能変面、サムルノリなどのステージパフォーマンスや、記念撮影が楽しめる世界伝統衣装体験など、各国ならではのアートや文化を満喫する一日になりました。「全て素晴らしかった」「変面が面白く、より中国が好きになりました」などの来場者からの感想も寄せられました。

## Borderless Concert ～ぼーだーれす・こんさーと～

開催日／2022年12月2日(金)  
会場／別府市公会堂(別府市)  
来場者数／80人  
主催／はっぴー・ほりでいず



大分と東京の演奏家のコラボレーションで、楽器や歌のジャンルにとらわれず、未就学児も入場可能なボーダーレスなコンサートを実施。オペラ「椿姫」や「カルメン」などをはじめ、親子で楽しく歌って踊れる「ボヨヨン行進曲」まで、様々なジャンルの音楽を届けました。来場者からは「こんなに楽しいクラシックコンサートならたくさん聴きに行きたい」「一曲ずつの解説がわかりやすかった」など、喜んでいただきました。

## オペラ「アラベッタ」

開催日／2022年12月1日(木)  
会場／コンパルホール(大分市)  
来場者数／63人  
主催／ジューソーレミュージック



リヒャルト・シュトラウスの名作オペラ「アラベッタ」を、日本語のセリフを入れたハイライト公演にすることで、誰でも気軽に楽しめ、かつ音楽と芸術文化の向上を目指しました。大分では初上演の作品でしたが、素晴らしい歌手の方々に加え、特別編成のオーケストラや役者の方々のおかげで、魅力と楽しさを伝えることができました。来場者からは「ドイツ語歌唱なので内容がわかるか不安でしたが字幕と役者の台詞で内容もわかって楽しめた」などの感想をいただきました。

## 現実47

開催日／2022年12月3日(土)～11日(日)  
会場／大分県立美術館(大分市)  
来場者数／300人  
主催／現実



7名の作家による絵画、写真、彫刻、映像、インスタレーションからなる展示を実施。キューブ状の立体物を制作し、その中で各々の作品を展示するとともに、期間中にキュレーターの若山満大氏を招き、作品に対する討論会を行いました。来場者からは「展示内容だけでなく、展示方法も今まで見たことのない場所の使い方で、とても刺激を受けた」と感想をいただきました。

## 国東えんげき工房 舞台公演 時空わたりのバス～あやかし経由国東行き～

開催日／2022年12月4日(日)  
会場／くにさき総合文化センター(国東市)  
来場者数／406人  
主催／国東えんげき工房



祖父の住む国東市に引っ越してきた少女「あやっぺ」と姉の「かしお」が、不思議なバスに乗って国東市の昔話の世界を旅するファンタジー演劇。国東市の昔話や伝説を知ってほしいという趣旨で、昔話を元にした即興劇をいくつか行い、それらをつなぎ合わせて一つの話にする“ディバイジング方式”でオリジナルの脚本による舞台を披露しました。来場者からは「国東市で本格的な芝居を見られると思わなかった」「初めて芝居を生で見た子どもがとても喜んでいました」と感想をいただきました。

## 世界の文化遺産「能」を 西洋音楽で能舞する

開催日／2022年12月4日(日)  
会場／平和市民公園能楽堂(大分市)  
来場者数／280人  
主催／大分県能楽連盟



簡略な解説や囃子方4人による各楽器の特徴説明を交え、子ども仕舞4番と半能2番を古典芸能の能を声楽に合わせて舞う、独特の世界観を披露。半能「羽衣」では、ヴァイオリン・ファゴット演奏と声楽でシテが能舞する新しい試みでした。また「石橋」では中国を舞台とした迫力ある本格的な能形態を演じました。客席からたくさんの拍手が沸き、感動や励ましの言葉などから、今回の能舞を受け入れていただけたと安堵しました。

## 伊勢正三Collaboration Live ～♪津久見の子どもたちと音楽交流♪～

開催日／2022年12月4日(日)  
会場／津久見市民会館(津久見市)  
来場者数／650人  
主催／一般社団法人 なごり雪の会、コンサート実行委員会



津久見市出身のシンガーソングライター 伊勢正三氏と、地元の子もたちが同じステージに立ち、それぞれが歌唱や演奏を披露するとともに、一緒に歌ったり演奏をしたり、音楽を通じて交流を行いました。5年ぶりの伊勢氏の凱旋コンサートということもあり、満席の会場は熱気にあふれ、出演した子どもたちも緊張しながらも自由にのびのびと臆することなく演奏や歌唱することができました。

## 宗家を偲んでコロナ終息を願う 筑紫流発表会

開催日／2022年12月4日(日)  
会場／iichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／1,000人  
主催／伊坂舞踊研究所 筑紫流



日本舞踊 筑紫流を受け継ぐ県内の団体による古典の日本舞踊と新舞踊を融合させた舞踊公演を行いました。今回は初めて舞台背景に映像を投影する演出を行い、故宗家のありし姿や、流派の成り立ちを知っていただくことができました。舞台演出の表現の幅が広がり、今後、よりクオリティの高い発表会を目指すことができると感じました。

## フォーラム『東アジア文化都市の挑戦』 ～他都市の事例から学び、大分県のこれからの展望する～

開催日／2022年12月10日(土)  
会場／J:COM ホルトホール大分(大分市)  
来場者数／45人  
主催／フォーラム「東アジア文化都市の挑戦」実行委員会



過去の東アジア文化都市開催地の事例からそれぞれの成果や課題を踏まえ、大分県ならではの取組やその可能性を探ることを目的に開催。前半では佐々木雅幸氏による基調講演を、後半では過去の東アジア文化都市開催都市からパネリストを招き、事例紹介とパネルディスカッションを行いました。また、オンラインにて中国山東省から「現代アートによる農村再生」について、韓国から「釜山での人材育成における課題や解決のための具体例」について発表しました。

## Far East Conversations

開催日／2022年12月10日(土)～22日(木)  
会場／BEP. Lab(別府市)  
来場者数／80人  
主催／アーティスト・イン・レジデンス(ゆ)



韓国慶州市を拠点に、自身を映したキャラクターをモチーフに絵画制作を行うパク・ソニウ氏が、別府のレジデンスに滞在し、そこで出会う風景をもとに作品を制作し、BEP. Labにて展示。また、釜山・慶州を中心に韓国全域で活動を行う音楽家兼フェスティバルオーガナイザーであるイ・カンヒョク氏とトークセッションを行いました。

## 大分×慶州 クリスマス for STUDENTS

開催日／2022年12月10日(土)  
会場／お部屋ラボ 祝祭の広場(大分市)  
来場者数／1,767人  
主催／株式会社茅嶋工務店ノットファクトリー



県内の中・高校生、大学生を中心に、音楽やダンス、パフォーマンスを通じて若者同士が交流するイベントを開催。ゲストに韓国慶州市からK-POPダンスグループを招聘し、吹奏楽、出演バンド、歌手が韓国の楽曲を演奏しました。ダンスもK-POP曲で踊るなど韓国文化を取り入れ、国境と学校の枠を越えた文化交流事業となりました。日韓の同世代の若者たちがお互いの文化や人権を認め合い、未来につながるイベントになりました。

## Japan traditional culture shamisen music tallest peak 長唄・三味線 = 演奏・体験会 =

開催日／2022年12月17日(土)  
会場／立命館アジア太平洋大学(別府市)  
来場者数／約50人  
主催／大分県長唄連盟・立命館アジア太平洋大学長唄三味線サークル



APU長唄三味線サークルの学生による日本の名歌の演奏と、連盟会員と助演者の演奏の二部構成で開催。体験会では、留学生の希望者が三味線で「さくら」を練習して、舞台上で披露しました。国際交流団体JICEのメンバー(クロアチア・ギリシャ・ルーマニアから来日)の希望者のほぼ全員が体験会に参加できたことをとても喜んでいました。「生演奏の迫力とサークルの学生のレベルの高さに感動した」との声が来場者から多数届きました。

## 蔵シックコンサートfinal

開催日／2022年12月17日(土)  
会場／帆足本家 酒造蔵(大分市)ほか  
来場者数／28人  
主催／ワンワンレコード



県内の日本文化を感じられる歴史と風情ある場所で、大分県にゆかりある楽曲を演奏しました。クラシック曲のほか、大分県の民謡や日本の歌曲・歌謡曲など、多くの方になじみのあるメロディーで構成。また、若手出演者が着物で演奏し、お客さまにも手拍子で参加してもらうなど、演出面でも創意工夫をすることで、お客さまと一緒に楽しめるコンサートとなりました。

## 廃材アートでPEACE!!

開催日／2022年12月17日(土)～25日(日)  
会場／トキハ別府店(別府市)  
来場者数／300人  
主催／梅本美術研究所



「廃材を使ったアート」をテーマに、日本、中国、韓国の2歳から高校生まで182名の子どもたちが制作した910点の絵画や造形作品を展示。「ふるさと」をテーマにした廃材アートBOXには、ふるさとへの思いを込めてつくった作品が並びました。ワークショップでは、若手アーティストたちが子どもたちと交流しながらアートを楽しみました。

## うた 繋ぎたい残したいふるさとの民謡 「民謡集」

開催日／2022年12月18日(日)  
会場／平和市民公園能楽堂(大分市)  
来場者数／350人  
主催／豊の国民謡連合



県内の民謡を中心に全国の著名な民謡を織り交ぜた公演を行い、公演後には大分県在住の民謡愛好者と、民謡・津軽三味線・踊りの大家によるワークショップを開催。県内外から多くの方に来場いただき、来場者は公演を楽しみ、なじみのない楽器に触れることで難しさとともに面白さを体験し、民謡を身近に感じてもらえました。

## こどもアートフェスタ

開催日／2022年12月18日(日)  
会場／コンパルホール(大分市)  
来場者数／約200人  
主催／OMAP



“子どもたちとアーティストで創るステージ”と題して「こどもアートフェスタ」を開催。こども朗読音楽絵本「卵の殻をつけたどろぼうたち」の上映や、コンパルホールのテーマソング「天の花」を編曲した合唱やアーティストによるライブイベント、ミニライブなどを披露しました。出演した子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。



## オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」 ～恋人たちの学校～

開催日／2022年12月20日(火)  
会場／iichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／274人  
主催／大分二期会



県内のオペラ観客裾野拡大、次代のオペラ界を担う人材育成の推進を目的に、モーツァルト作曲のオペラ「コジ・ファン・トゥッテ」の公演を実施。演出家に井原広樹氏、指揮者に森口真司氏を迎え、合唱やオーケストラに大分県立芸術文化短期大学の学生が参加した本格的なオペラを幅広い年代のお客さまに鑑賞していただきました。「演奏や歌唱が素晴らしく、現代風の演出で展開も早く楽しかった」と好評を得ました。

## 大分 里の歌まつり

開催日／2022年12月24日(土)  
会場／はさま未来館DENKENホール(由布市)  
来場者数／32人  
主催／オペラピオーネ大分



民謡研究家 加藤正人が大分県をめぐり残した民謡で、「はさま未来館」が所蔵する8,000曲分の録音や楽譜をもとに、県内で昔から歌い継がれてきた様々な民謡を現代の若手アーティストの感性で新編曲・創作し、演奏するコンサートを行いました。日本の歌曲・童謡など、多くの方になじみのあるメロディーで構成されたプログラムになるよう工夫し、お客さまに喜んでいただけるコンサートとなりました。

## sonority flute ensemble ～音楽で廻る 世界、アジア、日本～

開催日／2022年12月21日(水)  
会場／iichiko総合文化センター(大分市)  
来場者数／129人  
主催／sonority flute ensemble



「TAKETA室内オーケストラ九州」の重見佳奈氏(フルート)と後藤秀樹氏(ピアノ)を迎え、フルートアンサンブルのコンサートを開催。ゲスト演奏では、特殊な構造の『ピービーフルート』を使用して中国らしい音色を披露しました。また大分ゆかりの作曲家 瀧廉太郎の生涯を映像と解説を交えて演奏。他国の文化への興味関心を深めるとともに、自国の作曲家への誇りを感じてもらおう時間となりました。

## 奉納 御嶽神楽

開催日／2022年12月25日(日)  
会場／お部屋うらゴ 祝祭の広場(大分市)  
来場者数／約500人  
主催／奉納 御嶽神楽実行委員会



御嶽神楽、庄内原神楽保存会、竹の中神楽座の3団体合同での神楽公演で、貴見城、網伐、返矢、日割、神逐、大蛇退治、天孫降臨、八雲弘、大神の9演目を披露。開場前から、この公演を楽しみにしていたお客さまや、各出演団体の関係者が詰めかけ、たくさんのお客さまからの熱い拍手を受けて舞手にも熱が入り、大盛況の公演となりました。

## 和楽器アンサンブル“息吹”+ 大分県民謡連盟による「民謡ふるりの唄景色」

開催日／2022年12月25日(日)  
会場／コンパルホール(大分市)  
来場者数／350人  
主催／大分県民謡連盟



和楽器アンサンブル「息吹」と大分県民謡連盟とのコラボレーションによる演奏会を開催。江戸時代から歌い継がれた大分県民謡の原曲と、和楽器アンサンブル息吹によってアレンジされた現在調の磨き抜かれた演奏を堪能していただきました。